

学校関係者評価書

鳥栖市立基里小学校

1 学校関係者評価実施状況

- (1) 学校関係者評価実施日 令和5年3月7日(火)
- (2) 資料(評価の参考とした資料)
 - ・年度末の学校評価(教職員作成)
 - ・教育課程等に関する教職員の反省
 - ・第1回～第3回までの学校運営協議会の議事録
- (3) 評価者 学校運営協議会委員 6名

2 評価

(1) 学校運営について

- ①目標の妥当性及び達成状況
 - ・目標は適切であり、概ね達成できている。
- ②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性
 - ・取組は適切であり、自己評価の結果も妥当である。
 - ・時間外在校時間の短縮については、次年度通知表2期制等の実施の効果も期待し、更に継続して働きやすい環境をめざしてほしい。
- ③改善方策の適切さ
 - ・適切に対応されていると思う。
 - ・具体的な改善方法・向上策に全職員が取り組んでいるように理解できる。
 - ・学習状況調査やCRTテストで県平均を上回っていることについて、教師が主体的に授業力向上を目指して取り組んだ成果と考える。保護者や地域へ大いに発信していいのではないか。

(2) 教育活動について

- ①目標の妥当性及び達成状況
 - ・目標は妥当であり、達成状況は概ね良好である。
 - ・アンケートや調査結果から見ても、児童や教師のがんばりが伝わってくる。
- ②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性
 - ・自己評価とその分析は的確であると判断する。
- ③改善方策の適切さ
 - ・具体的で適切に打ち出されている。
 - ・次年度は、新型コロナウイルス感染症に対する状況が変わることから、より一層地域人材の活用を進め、将来の夢や目標をもつ児童の育成に取り組んで欲しい。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・SNS等による大人の目の届きにくいところで起こりうるいじめの対策として、より一層情報モラル教育に努めて欲しい。
- ・コロナ渦でマスクも着用していることや、ゲーム時間の増加等により、戸外で遊んでいる子供を見かけることが少なくなったように感じる。骨折にいたる生活事故が増えていると聞き、運動をする機会の減少、体力の低下が心配される。
- ・ゲーム依存等も心配である。
- ・今年度は、鳥栖市教育の日をはじめ、運動会、昔遊びや伝統行事(獅子舞)体験の指導などで、地域(区長会、民生・児童委員会、老人会など)と児童と触れあう機会があったことが嬉しかった。以前行っていた給食交流等も次年度はぜひ実施して欲しい。
- ・小中一貫教育については、実践を十分に重ねており、臨機応変な対応もできると思われる。コロナ渦ではあるが、小中学校でしっかり連携を続けてほしい。